

平成28年度 職員学校評価

(1) 職員アンケート結果（全校平均）

		職員	昨年度
1	印旛中学校の教育について総合すれば満足している	3.0	3.0
1	教科の学習指導(授業内容, 指導技術など)	2.9	2.9
2	個に応じたきめ細かな学習指導	2.8	2.7
3	心の教育の取組(道徳の授業や体験活動など)	2.9	2.7
4	運動会・合唱コンクールなどの学校行事の取組	3.5	3.3
5	将来の生き方や進路指導の取組	3.0	2.9
6	部活動の指導	3.1	2.8
7	服装やあいさつ等, 基本的な生活習慣の指導	2.3	2.4
8	交通安全等の取組	3.1	3.0
9	学校からの情報発信(学校だより, 学年だより, HP等)	3.8	3.3
10	校舎や教室のきれいさ	2.5	2.4
11	教師と生徒の人間関係	2.7	2.7
12	子どもに関する心配事や悩み事についての相談	3.0	2.8

28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

(2) 考察

○全体の傾向

- ・総合的な満足度は昨年度と同じである。（昨年度に比べ、生徒評価は0.2ポイント上がり、保護者評価は同じである。）
- ・総じて昨年度に比べ、13項目中9項目でポイントが上がり、「服装やあいさつ等基本的な生活習慣の指導」のみさらに下がった。
- ・保護者評価と比べると多くの項目において評価結果に差が見られる。学校の取組が保護者や地域の方々にわかりやすいように、学校運営について情報発信して行く必要がある。

○課題等

- ・学習指導、特に個に応じたきめ細かな学習指導は保護者の評価結果と同様に依然として課題である。
- ・また、「服装やあいさつ等、基本的な生活習慣の指導」と「校舎や教室のきれいさ」も職員の課題意識が非常に高く、保護者や生徒の評価結果と併せて分析し、改善策を図っていきたい。
- ・保護者と生徒の評価結果を謙虚に受け止め、分析・精査して学校運営を来年度さらに推進する。

○意見欄について

- ・あいさつを元気よくできる生徒を増やしたい。
- ・規範意識を高め、悪いことをしてしまったときには素直に認める心を育成していきたい。
- ・教科の指導や服装・あいさつなどの取組は、もっと教師側としてできることがあると思うので、全職員で一致団結して改善していかなければならない。
- ・学習指導として、パソコンを活用した視聴覚教材を取り入れ、生徒の学習意欲の向上を図っていく必要がある。
- ・多忙化により月2回は日曜日を休みとして、自己研鑽や休養の時間に充てたい。
- ・保護者の意見や指摘について職員会議等で周知し、職員から多くの意見を求め、来年度の学校経営にいかしていきたい。